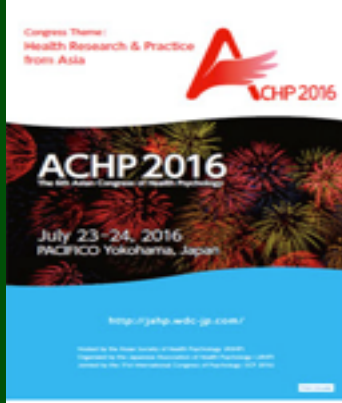


日本健康心理学会メールマガジン No.28



2014年11月21日 第28号

Contents

- 1) 学会からのお知らせ
- 2) 健康心理学コラムvol.23 国大基督教大学 清水 安夫先生

1) 学会からのお知らせ <http://jahp.wdc-jp.com/>

■学会賞のお知らせ

□本明賞

島崎崇史他4名「健康行動変容を目的とした情報媒体の受け入れやすさ・有用性が媒体の閲覧行動、健康行動実施に対するセルフエフィカシー、および意図に与える影響」

□Young Health Psychologist 賞 (五十音順)

上野雄己、小沼佳代、島崎崇史、満石 寿、三原健吾

□研究・実践活動奨励賞 (五十音順: 研究代表者名)

上地広昭「健康行動変容のためのeHealth 介入プログラムの開発」
小西瑞穂「牛乳アレルギーを持つ子どもの保護者へのストレス介入プログラムの作成」

山津幸司「医療機関での治療の一環として実施されるライフスタイル介入の評価に関する研究」

山野洋一「禁煙支援における健康心理学的なアセスメント及び介入法の開発」

■ポスター発表奨励賞 (第27回大会) のお知らせ

学会では、若手の研究者が受ける賞の種類を増やしてきました。沖縄大会では、大会実行委員会が主導し、新たにポスター発表奨励賞を設けました。

この賞は、ポスター発表の第一発表者が投票の権利を持ち、発表者相互で選ぶ「みんなの賞」という位置づけです。(五十音順: 研究代表者名)

雨宮怜「アスリートにおけるマインドフルネスと心理的競技能力との関連性の検討」

稲垣和希「パフォーマンス発揮に適した心理状態のスポーツタイプ別特徴」

上地広昭「メディア・リテラシーがeHealth介入へのアドヒアランスに与える影響」

川畑美奈穂「青年期の友人関係とアサーションにおけるキャラ化の影響」

北見由奈「地域住民のストレスに関する検討 (第2報)」

小沼佳代「在宅脳卒中患者の社会的活動に関連する要因 -Intention-behavior gapの解消に着目して-」

畠中香織「在日外国人ケア労働者の異文化適用に及ぼす協働文化の影響」

-異文化間ケアの創出基盤としての職場環境の検討-

■国際委員会より

□シンポジウムと2014Young Health Psychologist Award授賞式のご報告

国際委員会のブログページに、年次大会時の国際委員会企画シンポジウムとYHPA授賞式の様子を掲載しました。次年度のYHPAに向けた告知を改めて学会HPや国際委員会ブログ上でも行います。時折ご確認ください。

国際委員会ブログ <http://jahp-international.blogspot.jp/>

□第7回Asian Association of Indigenous and Cultural Psychology大会のご案内

AAICP HP <http://jahp-international.blogspot.jp/2014/11/7aaicpasian-association-of-indigenous.html>

■会員専用ページにおける情報公開について

来年1月に行う代議員選挙の選挙台帳作成のために、事務局から会員登録内容の確認依頼が郵送されています。会員専用ページへログインして頂き、登録内容をご確認ください。

(会員番号とパスワードは郵送物に掲載されています)

学問領域、研究内容、メールアドレスをご記入頂いていない方が多くいらっしゃいますので、公開・非公開の選択も含めてご確認ください。

■メンタルヘルス・プロモーション研究部会開催のお知らせ

場所: 国際基督教大学

日時: 2014年12月14日(日) 14:00-17:00

<http://jahp-research.blogspot.jp/>

■日本健康心理学会第28回大会のお知らせ

日程: 2015年9月5日(土)・9月6日(日)

会場: 桜美林大学町田キャンパス

メインテーマ: 「健康心理学によるエンパワメント」

演題募集: 3月中旬から5月8日までの予定

■英語版ホームページを開設いたしました。

<http://jahp.wdc-jp.com/english/index.html>

2) 健康心理学コラムvol.23

「28th European Health Psychology Society Conferenceに参加して」(国際基督教大学 清水 安夫 先生)

2014年8月26日—30日に、「No kangaroos in Austria」の標語でお馴染みのオーストリアのインスブルックで開催された、第28回ヨーロッパ健康心理学会 (EHPS) に参加して来ました。

チロル州の州都であり、ヨーロッパ・アルプスの山々を望む風光明媚な街にある、インスブルック大学が会場でした。冬期オリンピックが2回開催されたウィンタースポーツの名所ですが、気軽にロープ

ウェーで2000m級の山に登れることから、夏山ハイキングにも最適

なところでした。大会のテーマは、「Beyond prevention and intervention: Increasing well-being」であり、テーマに沿ったキーノ

ートレクチャー、講演、ポスター発表等が行なわれました。

大会の特徴としては、EHPSにもポジティブ・サイコロジーの波が押し寄せているようであり、そのようなテーマでの研究発表も数多く見られました。大会主催のディナーパーティーは、標高1600mの

山の上のレストランで開催され、開場までの間、美しい山並みに沈む夕

日に見惚れる大自然の演出もありました。この度の大会では、日本健康心理学会から、2016年に横浜で開催される第31回国際心理学会

(31st International Congress of Psychology in Yokohama)および第6回アジア健康心理学会 (The 6th Asian Congress of Health Psychology in Yokohama) を紹介するブースを出展いたしました。

田中宏二理事長、竹中晃二事務局長をはじめ、若手学会員の方々のご支援をいただき、日本で開催される両大会の案内をさせていただきます。多くのEHPS参加者に、日本での大会開催を紹介でき、貴重な機会となったことをご報告いたします。

日本健康心理学会広報委員会

<http://jahp-public.blogspot.jp/>

メールマガジンの配信停止、アドレス変更については下記アドレスまで。日本健康心理学会事務局 <jahp-post@bunken.co.jp>

メールマガジンへのご意見・ご感想については下記アドレスまで。広報委員会 <jahp-ML@bunken.co.jp>

過去のメールマガジンは、こちらからご覧いただけます

<http://jahp.wdc-jp.com/health/health1.html>